



学校のこれから通信 (坂下中学校区)

No.2

(発行) 令和8年4月24日
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL : 0568-85-6149
Mail : n-gakko@city.kasugai.lg.jp

市では子どもたちにとってより良い教育環境を実現していくため、坂下、藤山台、高森台、石尾台、岩成台の5つの中学校区にある学校について、学校の統合に向けた検討を進めています。

前号では、坂下中学校区の各学校の児童生徒数の現状や市の考え方、これまでの意見交換会の内容などを紹介し、坂下中学校区における学校統合に向けた基本方針(中間案)に対する市民意見公募(パブリックコメント)の実施について掲載しました。今号では、市民意見公募の結果と他中学校区の状況について掲載します。



前号はこちら



基本方針(中間案)の概要

坂下中学校区の小中学校の学校統合に向けた取組を具体的に進めるため、「坂下中学校区における学校統合に向けた基本方針」の策定を進めています。基本方針(中間案)では、坂下中学校区の「児童生徒数推計」、「アンケート結果」、「意見交換会でのご質問・ご意見」を踏まえ、学校統合に向けた方針を次のとおり示しました。

【方針1】坂下中学校区内での統合を検討します。

(1) 坂下中学校は、現時点では他の中学校とは統合せず、今後の生徒数の推移を見守ることとします。

(2) 小学校は、坂下小学校・西尾小学校・神屋小学校の3校の統合に向けて検討を進めます。

・登下校については、バスの利用などの通学手段を検討します。

【方針2】新しい学校が魅力ある学校となるように検討を進めます。

・小中一貫教育や特色あるカリキュラムの導入など、魅力ある学校となるように検討します。

・地域の方が利用できるコミュニティスペースの設置など、地域の拠点としての学校づくりを検討します。

【方針3】保護者や地域の方、学校関係者と連携しながら、丁寧に検討を進めます。

・保護者や地域の方に、検討状況や意見交換の内容などの情報を積極的に発信します。



基本方針(中間案)に対する市民意見公募(パブリックコメント)の結果

1 市民意見公募の結果

11人の方から25件の意見をいただきました。

2 ご意見について

坂下中学校区における学校統合に向けた基本方針(中間案)に対して、具体的な提案を含め、様々なご意見をいただきました。それらを踏まえ、引き続き、保護者や地域の方と丁寧に対話や議論を積み重ねながら、坂下中学校区の学校統合に向けた検討を進めていきます。

市民意見公募の結果について、次のとおり公表しています。また、いただいたご意見の中で、件数の多かった3種類の意見について、要旨とそれに対する市の考え方を裏面でご紹介します。

意見の分類	件数
今後の進め方	6件
通学	4件
少人数学級	4件
魅力ある学校づくり	3件
学校施設	2件
学校選択制・アンケート・ 子どもの家・小中一貫教育・ 不登校対策・その他	各1件
合計	25件

1 公表期間

令和8年4月13日(月)から令和8年6月10日(水)まで

2 公表場所

市ホームページ、学校教育課(市役所9階)、情報コーナー(市役所2階)、坂下出張所、各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)、各公民館(中央、知多、鷹来、坂下)、東部市民センター、保健センター、総合保健医療センター(3階こども家庭支援課)、グルッポふじとう

※ 市民意見公募の詳細は、右の QR コードからご覧いただけます。



○今後の進め方について

【意見】

- ・具体的な市の方針が示されて、話し合いが進むことを望む。
- ・人とのつながりや出会いは子どもの経験や自信、価値観の形成に大きくかかわる。早急に坂下中学校区で統合が進むことを希望する。
- ・統合のデメリットについて十分に議論されていない。地域の意見にしっかりと耳を傾ける必要がある。



【市の考え】

今後は、保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する懇談会において、統合の必要性を含め、より具体的な内容について意見交換を行っていきます。懇談会は公開で行うとともに、必要に応じて坂下中学校区で意見交換会を開催するなど、引き続き保護者や地域の方と丁寧に対話や議論を積み重ねていきます。

○通学について

【意見】

- ・3校統合は望ましいと思うが、児童生徒の登下校の安全は最大限考えられるべきである。
- ・バス通学では時間に制約が生じ、十分に遊ぶ時間がなくなってしまう。バス通学でなくても、今より通学路が長くなり、通学時間がかかってしまう子どもが心配である。また、安全面においても心配である。
- ・バス通学を導入すると、バスに乗れなかった場合どのように登校するのかなど、徒歩通学にはない数々の問題点が生まれる。



【市の考え】

学校を統合することとした場合の通学については、子どもたちの安全性や通学時間などを考慮し、安全な通学路の設定のほか、通学用のバスの運行について検討していきます。

○少人数学級について

【意見】

「少人数学級」の方がきめ細かな教育がなされると思う。

【市の考え】

学校統合の検討にあたっては、1学級あたりの児童生徒数が少ない「少人数学級」と学校(学年)全体の児童生徒数が少ない「小規模校または過小規模校」を切り分けて考える必要があると認識しています。

少人数学級は、教員が一人ひとりの児童生徒の状況をきめ細かく把握しやすく、個々に応じた指導ができるなどの効果があります。一方で、小規模校または過小規模校においては、クラス替えができないことにより、多様な考えに触れたり、切磋琢磨する機会が限定されたり、人間関係が固定化しやすくなったりするなどの傾向があります。また、運動会や文化祭などの集団活動において、児童生徒数が少ないことにより、教育活動に制約が生じることもあります。

本市としては、クラス替えができる一定の児童生徒の規模を確保した上で、個々に応じたきめ細かな教育を提供していくことが重要であると考えています。



他中学校区の状況

藤山台	3月1日(日)に保護者、地域にお住まいの方を対象に、藤山台中学校区と岩成台中学校区合同の意見交換会を開催しました。5月30日(土)に合同の第4回意見交換会を開催します。
岩成台	
高森台	4月25日(土)午後2時から、保護者、地域にお住まいの方を対象に、第3回意見交換会を開催します。
石尾台	2月11日(水・祝)に保護者を対象に第3回意見交換会を開催しました。4月25日(土)午前10時から、保護者、地域にお住まいの方を対象に、第4回意見交換会を開催します。

学校の適正規模や適正配置に関する市の基本的な考え方や、これまでに実施したアンケート結果及び意見交換会の会議録を市ホームページ(右に記載のQRコード)に記載しています。



※ 令和8年4月の市の組織改正により、学校の適正規模・適正配置に関する事務を担当する「新たな学校づくり推進室」を学校教育課内に設置しました。これに伴い、新しいメールアドレスとなっています。